

平成28年10月21日14時07分頃の鳥取県中部の地震について(第2報)

地震の概要

検知時刻：10月21日14時07分

(最初に地震を検知した時刻)

発生時刻：10月21日14時07分

(地震が発生した時刻)

マグニチュード：6.6(暫定値)

場所および深さ：鳥取県中部、深さ11km(暫定値；速報値約10kmから更新)

発震機構：西北西 - 東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型(速報)

震度：【最大震度6弱】鳥取県倉吉市(くらよし)、湯梨浜町(ゆりはまちょう)、北栄町(ほくえいちょう)で震度6弱、鳥取県鳥取市(とっとりし)、三朝町(みささちょう)、岡山県鏡野町(かがみのちょう)、真庭市(まにわし)で震度5強を観測したほか、中国地方を中心に、関東地方から九州地方にかけて震度5弱～1を観測しました。

防災上の留意事項

鳥取県中部では活発な地震活動が続いています。

揺れの強かった地域では、家屋の倒壊や土砂災害などの危険性が高まっているおそれがありますので、今後の地震活動や降雨の状況に十分注意し、やむを得ない事情が無い限り危険な場所に立ち入らないなど身の安全を図るよう心がけてください。

過去のこの地域の事例では、大きな規模の地震の発生後に規模の近い地震が続発した事例があることから、揺れの強かった地域では、地震発生から1週間程度、最大震度6弱程度の地震に注意してください。特に地震発生から2～3日程度は、規模の大きな地震が発生することが多くあります。

地震活動の状況

22日9時00分現在、震度1以上を観測する地震が137回発生しています。

(震度6弱：1回、震度4：6回、震度3：20回、震度2：38回、震度1：72回)

地震回数は速報値で、後日の調査で変更になることがあります。

気象庁機動調査班(JMA-MOT)の出動

気象庁は、この地震により鳥取県内で震度6弱～5強が観測された地域を中心に、地震動による被害調査及び震度観測点の状況確認のため、鳥取地方気象台(1班、4名)、広島地方気象台(1班、4名)及び松江地方気象台(1班、3名)からなる気象庁機動調査班(JMA-MOT)を派遣しました。

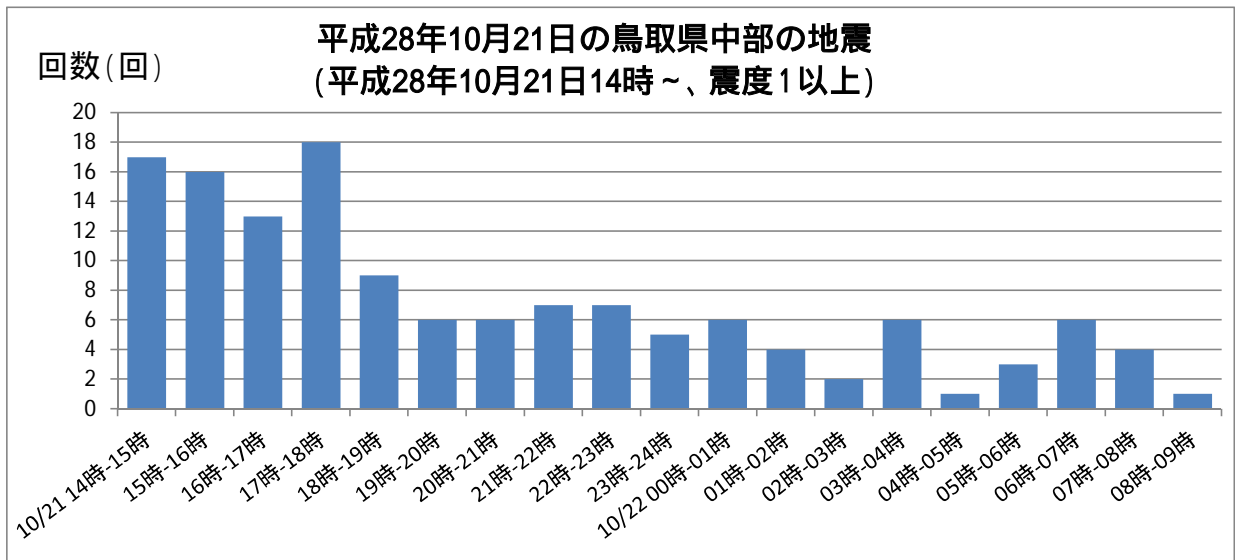
平成28年10月21日の鳥取県中部の地震(平成28年10月21日14時～)

鳥取県中部の震度1以上の最大震度別地震回数表

時間帯	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
10/21 14時-24時	52	27	18	6	0	0	1	0	0	0	104	104	
10/22 00時-24時	20	11	2	0	0	0	0	0	0	0	33	137	

時間帯	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計		
10/21 14時-15時	3	2	7	4	0	0	1	0	0	17	17		
15時-16時	6	7	3	0	0	0	0	0	0	16	33		
16時-17時	9	2	1	1	0	0	0	0	0	13	46		
17時-18時	12	4	1	1	0	0	0	0	0	18	64		
18時-19時	6	1	2	0	0	0	0	0	0	9	73		
19時-20時	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6	79		
20時-21時	2	3	1	0	0	0	0	0	0	6	85		
21時-22時	6	1	0	0	0	0	0	0	0	7	92		
22時-23時	3	2	2	0	0	0	0	0	0	7	99		
23時-24時	2	3	0	0	0	0	0	0	0	5	104		
10/22 00時-01時	3	3	0	0	0	0	0	0	0	6	110		
01時-02時	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4	114		
02時-03時	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	116		
03時-04時	2	3	1	0	0	0	0	0	0	6	122		
04時-05時	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	123		
05時-06時	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	126		
06時-07時	3	2	1	0	0	0	0	0	0	6	132		
07時-08時	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	136		
08時-09時	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	137		
総計	72	38	20	6	0	0	1	0	0		137		

この資料は速報値であり、後日の調査で変更されることがあります。

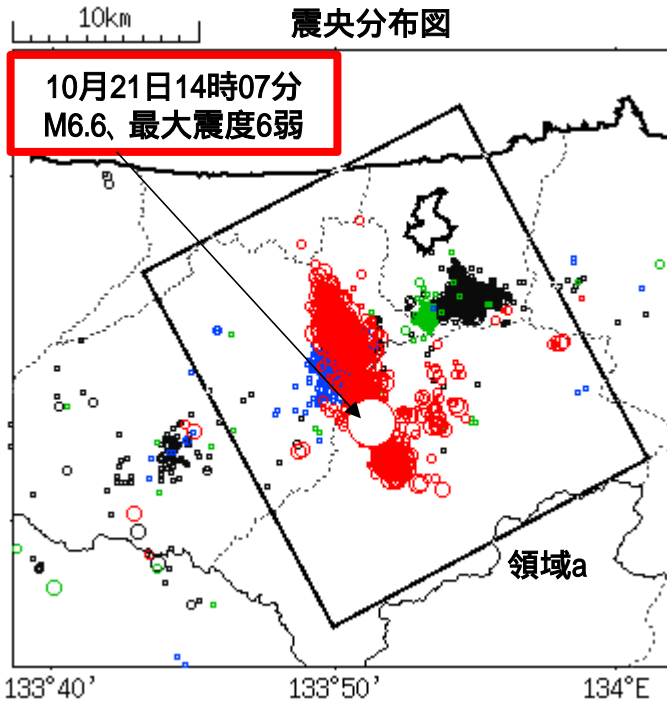


平成28年10月21日 鳥取県中部の地震 2015年10月以降の地震活動の状況（2016年10月22日08時00分現在）

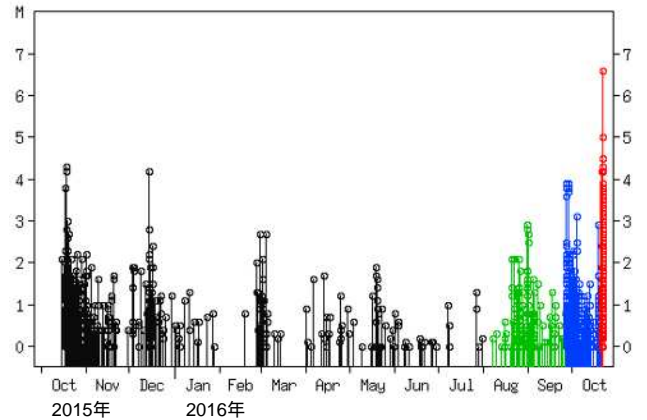
2015年10月1日～2016年10月22日08時00分、M全て、深さ0～20km

黒：2015年10月1日～2016年7月31日
青：2016年9月26日～2016年10月20日

緑：2016年8月1日～2016年9月25日
赤：2016年10月21日以降（一部未処理あり）

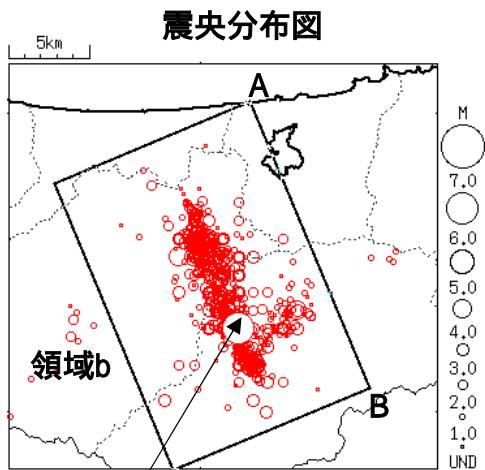


震央分布図の領域a内の地震活動経過図

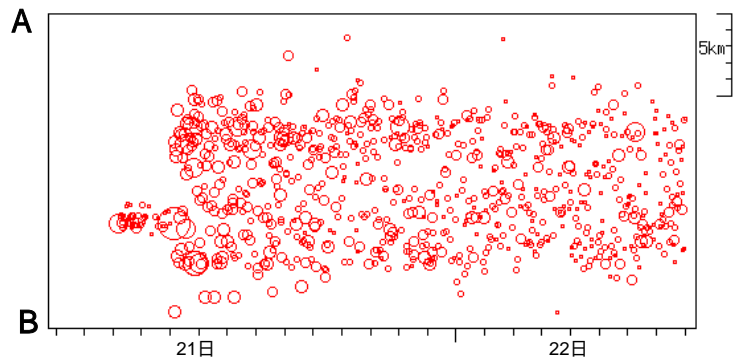


横軸は時間、縦軸はマグニチュード。縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

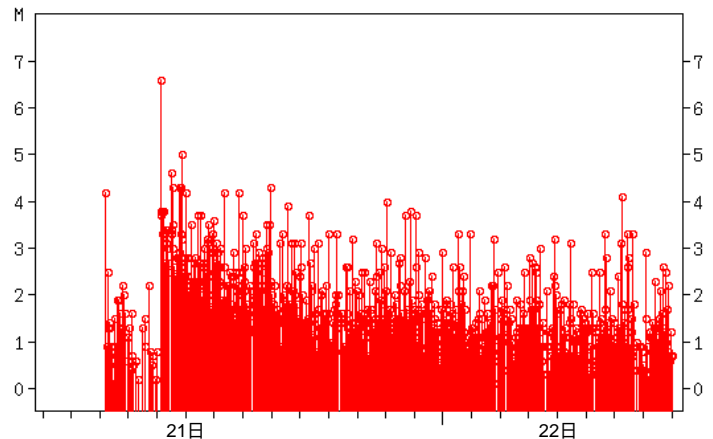
2016年10月21日10時00分～2016年10月22日08時00分、M全て、深さ0～20km



震央分布図の領域b内の時空間分布図(A - B投影)



震央分布図の矩形内の地震活動経過図



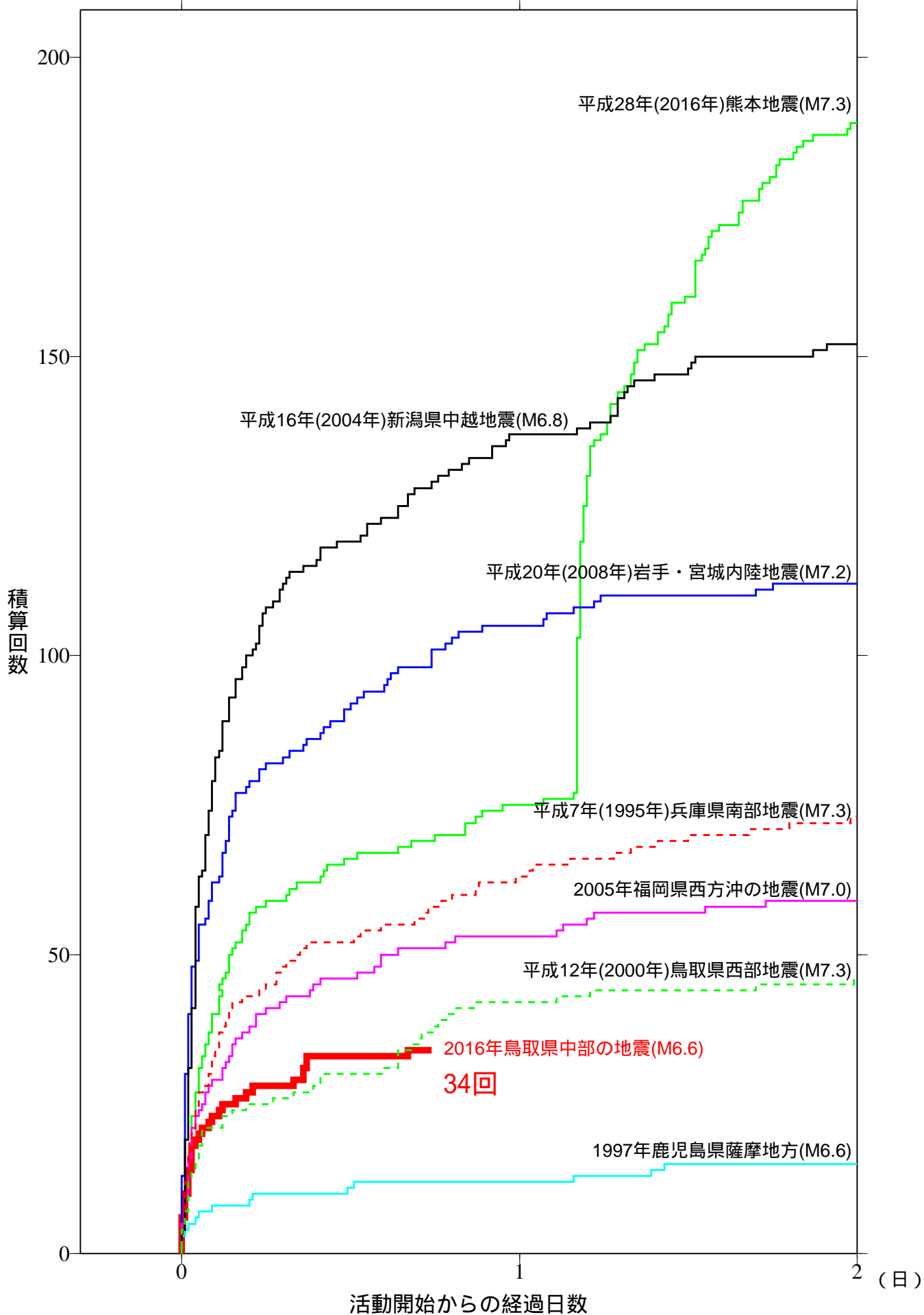
10月21日14時07分
M6.6、最大震度6弱

<資料の利用上の留意点>

- ・下の3つの図(10月21日以降の震央分布図、地震活動経過図及び時空間分布図)に表示している震源は、自動処理による結果です。ただし、地震情報を発表した地震は、情報で発表した震源を表示しています。
- ・発破等の地震以外のものや、震源決定時の計算誤差の大きなものが表示されることがあります。
- ・個々の震源の位置や規模ではなく、震源の分布具合や活動の盛衰に着目して地震活動の把握にご利用ください。

内陸及び沿岸で発生した主な地震の 地震回数比較 (マグニチュード3.5以上)

2016年10月22日08時00分現在



※この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。
※マグニチュードは、一連の地震活動の最大を示している。